

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2025年2月期調査結果（2025年4月発表分）

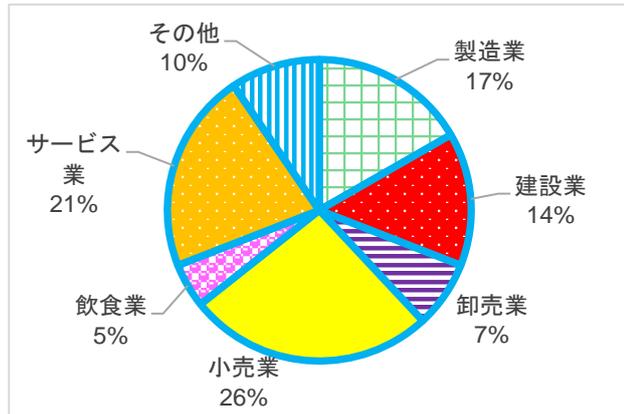
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2024年度景気ウォッチャー調査員（69名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は42名（回答率は60.8%）

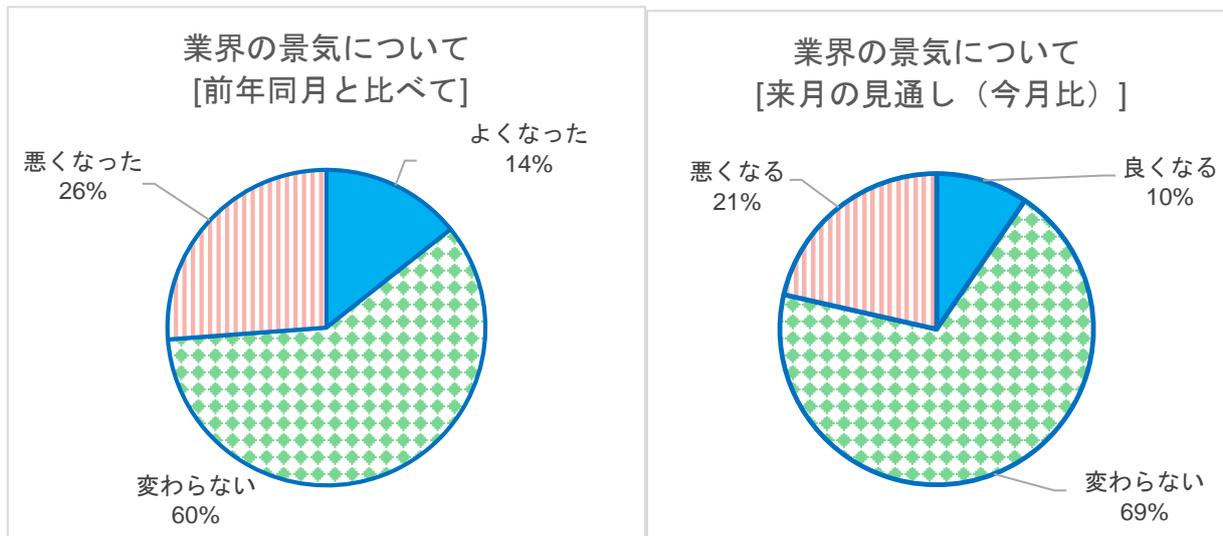
業種	回答者数	構成比
製造業	7	16.7%
建設業	6	14.3%
卸売業	3	7.1%
小売業	11	26.2%
飲食業	2	4.8%
サービス業	9	21.4%
その他	4	9.5%
計	42	100%



調査結果のポイント

<景況>

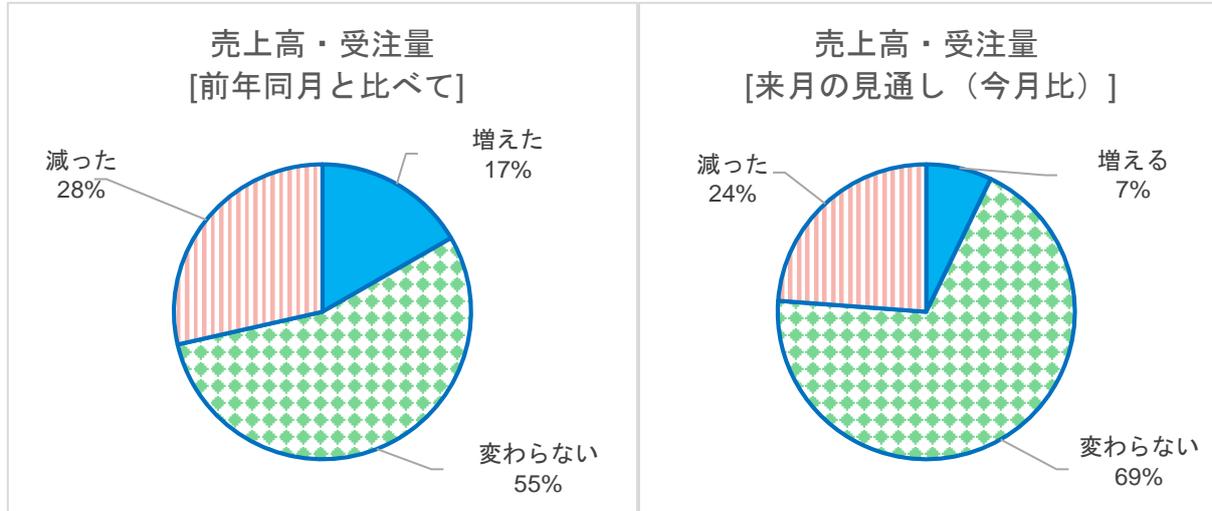
- ・2025年2月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が14.3%、「変わらない」が59.5%、「悪くなった」が26.2%となりました。
- ・2025年3月以降の見通しについて、2月と比較して、「よくなる」が9.5%、「変わらない」が69.0%、「悪くなる」が21.4%となりました。



<売上高・受注>

・2025年2月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた」が16.7%、「変わらない」が54.8%、「減った」が28.6%となりました。

・2025年3月以降の見通しについて、2月と比較して、「増える」が7.1%、「変わらない」が69.0%、「減る」が23.8%となりました。



【景気動向DI (毎月版)】

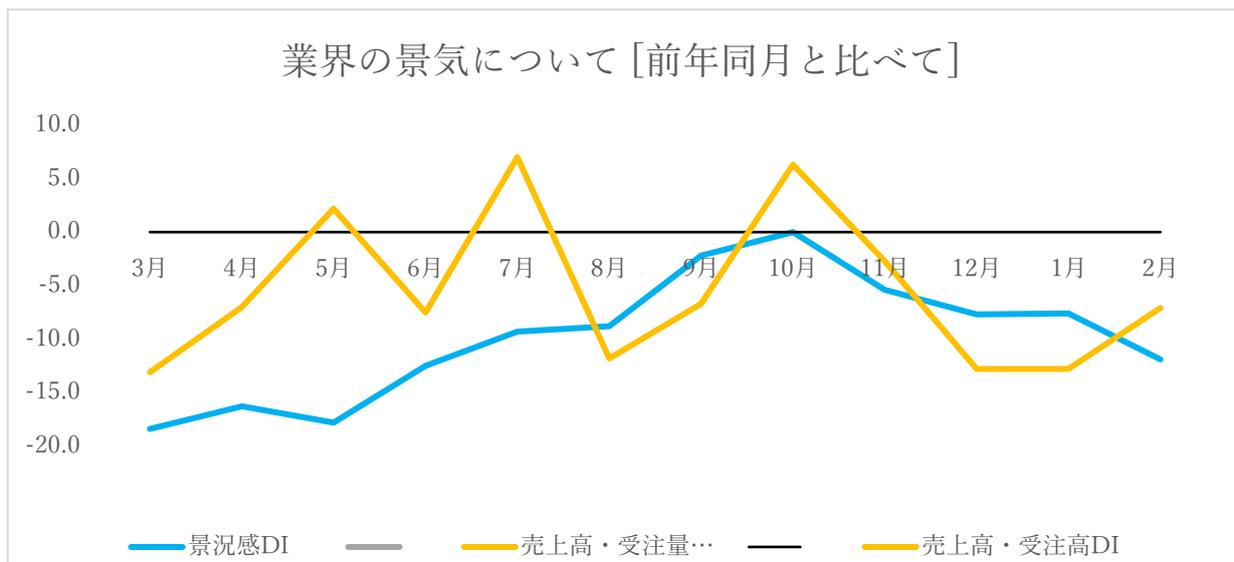
<概要>

景気ウォッチャー調査員69名を対象に、前年同月比・来月の見通しの業況判断、売上高・受注高のDI値※を、毎月ごとに算出する景気動向調査です。

※DI (ティフュージョン・インデックス) …前年同月比または前期比で「よくなった (よくなる)」と「悪くなった (悪くなる)」と回答した企業比率を引いた数値。

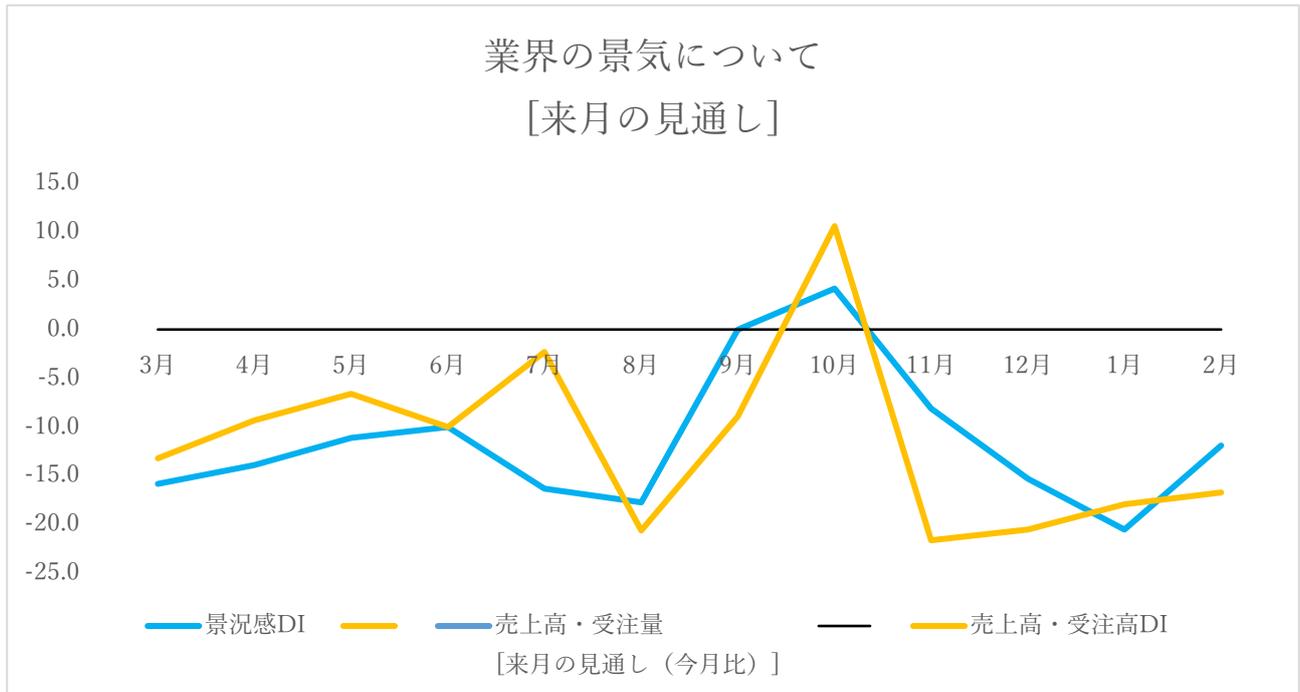
⇒0より上ならば「よくなった (よくなる)」と回答した人が「悪くなった (悪くなる)」と回答した人が多いことを意味します。

2024年3月からの景況感と売上高・受注高 (前年同月比) は下記の通りです。



業界の景気について [前年同月と比べて]	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
景況感DI	-18.4	-16.3	-17.8	-12.5	-9.3	-8.8	-2.2	0.0	-5.4	-7.7	-7.6	-11.9
売上高・受注量 [前年同月と比べて]												
売上高・受注高DI	-13.1	-7.0	2.2	-7.5	7.0	-11.8	-6.7	6.3	-2.7	-12.8	-12.8	-7.1

2024年2月からの景況感と売上高・受注高（来月の見通し）は下記の通りです。



業界の景気について [来月の見通し(今月比)]												
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
景況感DI	-15.8	-13.9	-11.1	-10.0	-16.3	-17.7	0.0	4.2	-8.1	-15.3	-20.5	-11.9
売上高・受注量 [来月の見通し(今月比)]												
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
売上高・受注高DI	-13.2	-9.3	-6.6	-10.0	-2.3	-20.6	-8.9	10.6	-21.6	-20.5	-17.9	-16.7

【調査対象者のコメント】

業種区分	業界動向や地域に関する困りごと
楽器(製)	いろいろな地域からインバウンド向け商品の問い合わせが来ている。
サッシ・ドア(製)	相変わらず受注量は少ない。また単価も安い。
木製家具(製)	いまは年度末にむけて仕事がでてきているが、4月以降は読めない。
家庭電化製品(販)	蛍光管の生産が2027年に終了するため、問合せやLED照明器具へ買替が多い。
一般貨物自動車運送業	燃油・車両価格・人件費などが高騰しており、厳しい状況が続いている。
事業協同組合(青果)	物価高が収まらない影響で小売などがし難くなっている。
事業協同組合(石油)	2月のガソリン販売数量は、前年に比べ減少した。主要因は①前年が閏年②本年1月より補助金縮小により販売単価が上昇したことによる。
事業協同組合(機械)	人手不足、エネルギー価格を始めとする諸物価高騰、人件費増。
事業協同組合(鉄)	電気料金の高騰、ガソリン価格の高騰等が事業の利益を圧迫する要因も多いが、従業員個人においても電気代、ガソリン代の高騰が生活に不安を与えている。
事業協同組合(ものづくり)	日本発条の事故による生産調整が懸念される。
燃料(小)	LPガス料金補助金支給が決定した。お客様の負担軽減になるので、大変ありがたい施策である。
建築設計業	建設業界では「寒明け着工が吉」とされ、市内にて2月の節分以降に着工したと思われる工事現場の数が増えた感じがする。

業種区分	①物価高騰・円安の影響 ②人手不足・人材確保の動向 ③デジタル化・業務の効率化に向けた取組み ④海外市場の動向と輸出入環境の変化 ⑤その他
木製家具(製)	①物価の上昇はとまらないし、4月からまた上がるものがあるので、値上げのタイミングがわからない。何回もあげるわけにはいかない。
楽器(製)	①物価高騰は止まらず、いい影響はない。
警備業	②人手不足・人材確保の困難に、経営者の高齢化も加わり、事業継続をしないという警備業者の話を聞くようになった。
一般貨物自動車運送業	②相変わらず人手不足は深刻。同業他社ではなく、他業種も含めて人材確保のための競走となっている。
税理士	②新規雇用のためには賃上げが必要不可欠になっている。その影響で既存社員との給与額のミスマッチが発生し、さらに人件費の増加がおきている。
木製品(製)	④アメリカの関税の見通しが立たない
事業協同組合(機械)	④トランプ関税の自動車部品メーカーへの影響
事業協同組合(鉄)	④自動車関連は一進一退の状況が続いている。生産計画は上振れすることもあるが、親会社の輸出シェアの大きい米中が関税の問題も含め不透明なこともあり下振れする懸念もある。
事業協同組合(ものづくり)	④米国関税の見直しにより、今後の事業にマイナス影響を受けることが懸念される。
資材(卸)	④トランプ政権の動きで為替や原油など様々なところへ影響が出るので恐怖を感じる
税理士	⑤所得税について、利益が出ても所得控除と定額減税で消すことはできても、払える資金がない人が増えた。
社会保険労務士	⑤退職金積み立て掛金を増額改正することを従業員へ周知をすることにより、安定雇用への改革を進めている。
社会保険労務士	⑤この春から健康保険・介護保険・雇用保険の保険料率が下がる。わずかな減額ではあるが、伝える役としては多少荷が軽い。
茶(加・小)	⑤浜松市もようやく観光やインバウンドのお客様がこられはじめた。

以上